

平成21年度 事業報告

- ・ 墨田さんさん会本部 【P. 1～2】
- ・ 墨田さんさんプラザ 【P. 3～10】
- ・ すみださんさんるーむ 【P. 11】
- ・ ワクワク工房デイサービス 【P. 12～13】
- ・ ほーむ大洋 【P. 14～15】
- ・ ほーむアンブレラ 【P. 16】
- ・ 亀沢七福福祉作業所 【P. 17～19】
- ・ 向島七福福祉作業所 【P. 20～22】

社会福祉法人 墨田さんさん会

平成21年 墨田さんさん会本部 事業報告

1 事業報告

平成21年度は当法人にとって、これまでにない発展と充実に満ちた1年となりました。

永年「墨田区手をつなぐ親の会」が運営していた「第一、第二七福福作業所」を墨田区から事業運営を受託、また、墨田2丁目にグループホーム・ケアホーム「ほ一む大洋」を開設しました。そして、旧文花小学校跡地に建設中の「ほ一むアンブレラ」が完成し、平成22年2月1日事業開始をすることができました。

七福福祉作業所については、法人参入を機に「亀沢七福・向島七福福祉作業所」と改名し、地域活動支援センターⅢ型事業として再出発いたしました。

また、当法人初の共同生活事業である「ほ一む大洋」は、定員6名による家庭的な雰囲気の中でスタートし、無事に1年を過ぎることができました。

そして、法人設立以来の大願であったグループホーム・ケアホーム「ほ一むアンブレラ」が竣工し、事業開始に至りました。2ユニット定員14名の大型グループホームでありながら、開設当初から定員を満たすことができ、その期待の大きさと需要の高さを改めて認識させられました。常時、職員を配置し夜間対応を施すと伴に、「ほ一む大洋」との連携も図って参ります。

このようにして、当法人も新たに4事業が加わり、それぞれの事業が協力しながらもその独自性を生かし、利用者の自立に向けた福祉サービスを実践してまいりました。

その一方で、事業拡大にともなう事務量の増加や新規職員の採用・人事管理・育成等、新たな課題もまた生じることとなりました。

来年度は、いよいよ通所施設の新体系への移行猶予期限の最終年度となり経営環境の変化が予測されます。

こうした中で、利用者本位の支援体制の一層の充実、福祉サービスの質の向上を目指して努力してまいります。そして、墨田区をはじめとする行政機関との連携を強化しながら、知的障害者の多様なニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供に努めてまいります。

2 理事会・評議員会について

当法人の実施事業にかかわる重要事項を審議するための理事会・評議員会は、次のとおり開催しました。

① 理事会

回	開催日	主な審議内容
1	5月28日	20年度事業・決算報告・監査報告 ほーむアンブレラの工事進捗状況説明
2	8月25日	ほーむアンブレラの事業開始時期について 処遇改善事業実施に伴う助成金の請求について
3	1月27日	管理者の任免について ほーむアンブレラの事業計画変更について 処遇改善助成金の申請について
4	3月26日	21年度補正予算について 22年度予算・事業計画について 人事案件について 組織及び事務処理規程の一部改正について 就業規則の一部改正について

① 評議員会

回	開催日	主な審議内容
1	5月28日	20年度事業・決算報告・監査報告 ほーむアンブレラの工事進捗状況説明
2	8月25日	ほーむアンブレラの事業開始時期について 処遇改善事業実施に伴う助成金の請求について
3	1月27日	管理者の任免について ほーむアンブレラの事業計画変更について 処遇改善助成金の申請について
4	3月26日	21年度補正予算について 22年度予算・事業計画について 人事案件について 組織及び事務処理規程の一部改正について 就業規則の一部改正について

3 監査会の開催

平成22年5月25日、2名の監事により、業務執行状況及び財産管理、財務執行状況について、監査が行われ、すべて適正に執行されていることが確認されました。

平成21年度 墨田さんさんプラザ 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

年代	20年度末(21.3.31)			入所		退所		21年度末(22.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	7	4	11	2	1			2	1	3
20～29歳	15	7	22			1		19	9	28
30～39歳	3	3	6					5	5	10
40～49歳	7	3	10			1		6	3	9
50～59歳	1	0	1					1	0	1
60歳以上	4	1	5			2		2	1	3
計	37	18	55	2	1	4	0	35	19	54
平均年齢	32.6歳	30.3歳	31.6歳	3		4		31.4歳	31.6歳	31.5歳

(2) 障害区分 22.3.31現在

障害区分	男性	女性	計
A	12	6	18
B	18	11	29
C	5	2	7
計	35	19	54

2 開所日数

237日

3 支援の状況

(1) 個別支援計画の作成

個別支援計画（以下「支援計画」という。）は、利用者個々の特性に応じたきめ細かな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとりひとりのニーズを反映するために利用者、保護者、施設職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものです。

【21年度個別支援計画の改善点】

各ケースに対する支援の進行状況を把握・確認するための中間報告書を、職員間での周知にとどまらず利用者と保護者へ開示しました。中間報告を行うことにより、支援の状況の把握と相互に共通の認識を持つことで、より効果的で透明性のある支援を実施をしました。

<個別支援計画作成プロセス>

時 期	事 項	
4月～6月	①	前年度支援計画の見直し
	②	個別支援計画報告書作成
	③	フェイスシート作成・変更
	④	観察等による利用者のデータ収集・ニーズの把握
	⑤	アセスメントシート作成
	⑥	利用者毎の課題と目標を設定
	⑦	具体的な支援内容を検討
	⑧	支援計画書担当者案作成
	⑨	担当者(案)の内容審査
	⑩	支援計画案決定
	⑪	個別面談 利用者・保護者に対する計画案の説明
	⑫	個別面談 利用者・保護者からの意見・要望聴取
	⑬	支援計画案修正
	⑭	支援計画決定

(2) クラブ活動

毎月第三火曜日の午後にクラブ活動を行っています。

【21年度重点計画 利用者支援の充実 クラブ活動の内容の充実】

選択肢として多種にわたるクラブ活動を利用者に提示しました。細部まで利用者の希望に沿い、例年と比較して活動内容は一新し、より充実したものになりました。

クラブ名	参加者数	主 な 活 動 内 容
スポーツ	23	球技やランニング等、体を動かす。
パソコン	13	パソコンの使用方法を学び、ゲームや新聞を作成する。
映画	11	実際に自作映画を撮影し鑑賞する。
合唱	5	ジャンルは問わず利用者の希望する曲を合唱する。
軽音	6	課題曲をギター、キーボード、タンバリンで演奏する。

(3) 行 事

平成21年度は次の行事を行いました。

7月24日	社会見学	ブルーベリー狩り ひまわり園散策	山梨県方面
10月10日	施設まつり	さんさんプラザまつりに従事者として参加	墨田さんさんプラザ
10月25日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会へ参加	区体育館
11月5日 ～6日	宿泊旅行	ニューグリーンピア津南宿泊、アルプの里散策、 リンゴ狩り、なめこ取り	新潟県方面
2月21日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 劇「美女と野獣」を演ずる	曳舟文化センター

【21年度重点計画 利用者支援の充実 宿泊体験の実施】

自立支援行事では、生活支援の具体的な取り組みとして宿泊体験を実施しました。個別の支援が特に必要な利用者は2～4名ずつ「すみださんさんるーむ」で実施し、集団の中での支援が必要な利用者については「すみだセミナーハウス」を活用しました。炊事、室内清掃や余暇等利用者の障害程度を考慮して、授産施設の日中活動とは異なる環境や場면을体験し、有意義かつ楽しめる内容としました。

(4) 健康管理

施設としての利用者の健康状態把握と利用者の自己管理を促すことの両面から、次のことを行っています。また20年度より、体調管理の指針となるように、毎月実施している体重測定の結果をグラフにして配布しています。

方法	実施 サイクル	内 容
日常の健康 チェック	毎日	①入退所時や施設内での活動時における身体状況等の観察 ②体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	①毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する
嘱託医による 健康相談	月1回	①毎月第2木曜日に嘱託医が来所し、利用者の健康相談や健康講話を行う
定期健康診査	6月11日 6月25日	①医療機関において胸部X線、尿、血液、血圧、内診、心電図等の検査を行う

(5) 安全管理

業務時間中はもとより、通所途中の事故防止等については、利用者に対し折にふれて注意を喚起するとともに、希望者には位置検索機の貸し出しを行ない、通所途中の安全確認と異常時の対応を迅速かつ適切に行っています。また、火災や大地震の発生に備え、5月14日と9月1日に避難訓練を実施しました。

(6) 就労支援

今年度の企業就労実績は以下のとおりです。

就職月	対象者	就労先	仕事内容
9月	26才 男性 (平成20年9月入所)	プラザスタイル(株) すみだジョブセンター	軽作業
11月	21才 男性 (平成19年4月入所)	墨田公共職業安定所	事務補助

【21年度重点計画 利用者支援の充実 実習の機会創出】

利用者の就労支援については、運営の大きな柱の一つとして取り組んでいます。平成21年度は利用者2名が企業就労に結びつきました。雇用に至らないまでも企業実習、職場見学、面接会の参加等の社会経験の機会を提供してきました。

大手企業の法定雇用率の遵守や障害者自立支援法施行により、企業就労への道は年々高まってきています。それにともない特例子会社設立の増加等により、知的障害者の受け入れ体制も整ってきました。そうした中で就労支援センターや公共職業安定所と連携を密にしながら、利用者の特性に応じた企業開拓や就労支援を随時行ってきました。

(7) 利用者自治会

親睦を目的とした利用者の会“プラザの会”があります。選挙により選出された役員が中心となり会費の運用や行事での企画等を行っています。利用者主体の会ではありますが、話し合いや金銭管理の場には施設職員が同席し必要に応じて助言しています。21年度からは役員による定例会を毎月定期的で開催し、より多く意見を交わす場ができました。施設としては会の要望を取り入れた利用者主体の施設運営を実現するとともに、利用者の自主性を育む手助けをしていきたいと考えています。

4 授産事業の状況

(1) 総収益 19,255,266円 前年度比 5.1%増
 月平均 1,604,606円

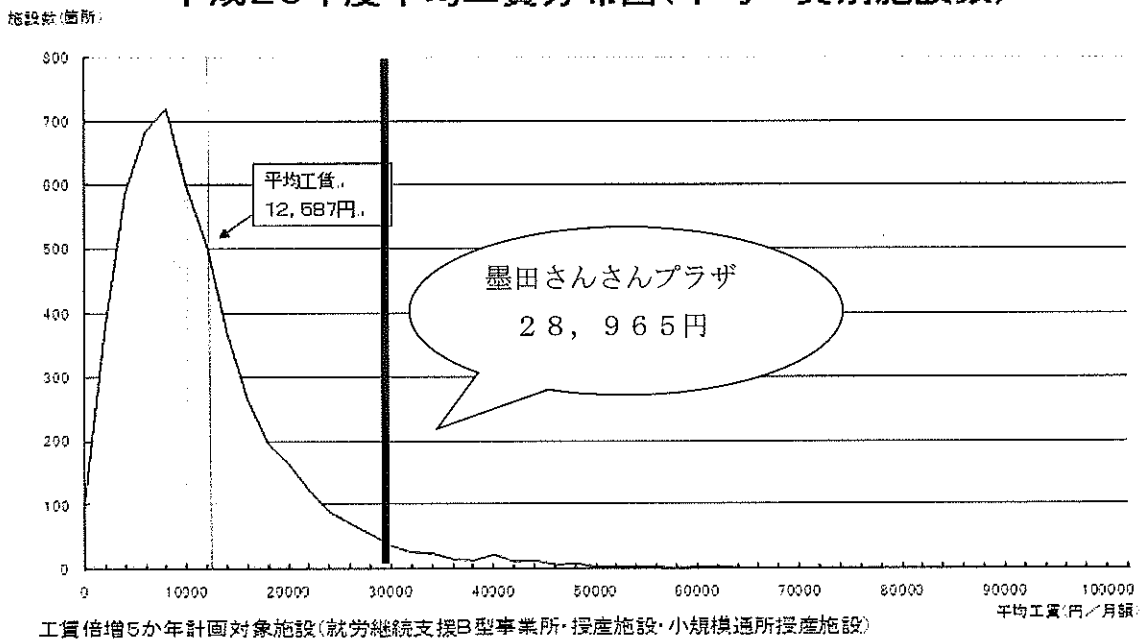
(2) 部門別収益内訳

	受注	公園	点字名刺等	パン	クッキー	喫茶
年計	6,425,981	2,367,306	535,851	4,259,956	2,640,484	705,954
月平均	535,498	197,276	44,654	354,996	220,040	58,830
前年度比	-30.9%	-13.2%	+6.4%	+27.8%	+21.3%	-17.8%
	施設清掃	緑化				
年計	1,202,197	1,713,056				
月平均	100,183	142,755				
前年度比	-	-				

(3) 工賃支払総額 18,914,400円
 支払月平均 28,965円 前年度比 453円増

◎ 全国授産施設等における工賃支給額との対比

平成20年度平均工賃分布図(平均工賃別施設数)



【21年度重点計画 新規授産事業の取り組み】

①障害者生活介護施設・障害児デイサービス施設 清掃事業

区より委託を受けた22年度開設する福祉施設の清掃業務へ向け、今年度は試行期間として業務に従事する利用者の選定、業務遂行能力の習得、区との予算の折衝等準備を進めてきました。また、日々の本格的な実施を模した訓練等により、22年度本格実施に向けた態勢に取り組んできました。

②障害者地域緑化推進事業

区より、地域の緑化推進を目的とした事業を受託し、年間を通して植物の栽培および管理を行いました。その結果、平井橋第一公園に2か所の花壇を設け、また、地域住民に対し3度にわたり花苗の無料配布を実施するとともに、地域交流への役割を果たすことができました。将来的には周辺企業等の協力を仰ぎ、緑化事業の広域化を視野に取り組んでいきます。

①②ともに、従来の授産施設の取り組みとは異なった領域ですが、利用者も積極的に取り組む姿勢が見られます。また、これらにより今後は高い水準での安定した収益を得ることが期待できます。

③自主生産品出張販売

不況により、受注・喫茶部門においては前年度より落ち込みが生じました。その一方で、自主生産事業は病院、企業、保育所への定期的な出張販売や納品等、販路を拡大し前年度を上回る高収益が得ることができました。利用者に対する工賃の支払い額は全国の授産施設と比較しても高い水準を維持しています。更にお客様に喜ばれる商品を製造・開発していくと共に、今後ともコスト意識を高め、更なる販路の拡大を視野に入れ取り組んでいきます。

5 職員の任免

	施設長	事務			生活支援員兼作業指導員			栄養士	嘱託医	計
	常勤	常勤	非常勤	臨時	常勤	非常勤	臨時	(兼務)	非常勤	
20年度末 21.3.31	1	2	0	1	5	3	9	(1)	1	22
		3			17					
退職	0	1	0	0	1	2	3	0	0	7
		1			6					
採用	0	0	0	0	2	1	3	0	0	6
		0			6					
21年度末 22.3.31	1	2	0	1	4	3	8	(1)	1	20
		3			15					

6 職員の研修

実施日	研修内容	参加者数
8月27日他	会計基礎実務研修会	1
1月12日他	決算実務研修会	1

7 地域交流等

墨田さんさんプラザの特色であるパン・クッキーの製造・販売や喫茶コーナーの事業活動は、実質的かつ日常的な地域交流として大きな成果を上げています。また、「さんさんプラザまつり」は、地元の方々をはじめ多くの来場者で賑いました。「第6回さんさんプラザまつり」の概要は次のとおりです。

日時	10月10日(土) 午前10時30分～午後2時
場所	墨田さんさんプラザ全館・駐車場・平井橋第一公園
主な催し	パン・クッキーの販売、新鮮野菜の販売、ゲームコーナー、パンジー無料配布 作業公開、作業体験、バザー、区内施設生産品販売コーナー 模擬店(やきそば・豚汁・フランクフルト)、コーヒーサービス、
来場者数	355人
従事者	141人(利用者、保護者、理事・評議員、職員)

8 福祉サービス第三者評価

(1) 評価機関

評価機関 株式会社 福祉規格総合研究所

住 所 千代田区神田須田町1-12-3 アルカディアビル6階

(2) 評価の手法と内容

21年度の福祉サービス第三者評価は「利用者調査」のみ実施しました。「利用者調査」は利用者のサービスに対する意向や満足度を把握することを目的とし実施されます。

(3) 評価結果

全体の講評

総合的な感想では「大変満足」が19名、「満足」18名と9割近くの利用者が満足している。観察調査においては、授産作業の場面では活気がある中で仕事が進められ、休憩時間には楽しげな雰囲気である。メリハリのあるタイムスケジュールで1日の活動が進められる様子が見てとれる。

評価の詳細はインターネットで閲覧できます。

I 「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

II トップページ福祉サービス第三者評価をクリック

III 評価結果を検索する（検索）をクリック

IV “事業所名から探す”の欄に「墨田さんさんプラザ」と入力して検索

V “事業所名称 墨田さんさんプラザ”を選択すると結果が表示されます

平成21年度 すみださんさんるーむ 事業報告

平成21年度当初は、常勤職員2名を配置し、職員体制の強化を図ると共に、将来に向けた法人職員の育成に努めてまいりました。そして、利用希望者の期待にこたえられるよう積極的な取り組みをおこなってきました。

最近の傾向として、学齢児の日中一時利用が増加し、特に学校の休校時に多くの利用希望がみられるようになってきました。

療育体制は、財政上の問題もあり、必ずしも充分とはいえませんが、その中で、できる限りの利用実績を上げることができました。それは、昨年度から取り組んできた複数の利用者を同時期に受け入れる等の効率的な事業運営を図ってきた結果だと考えております。

平成22年2月オープンした「ほーむアンブレラ」へ、るーむ事業に長く従事し、実績と経験のある職員を配置したため、現在常勤職員1名となっているが、新年度のできる限り早い時期に補充したいと考えています。

1 利用実績

短期入所			
月	利用人数	延べ利用日数	
4	10	16泊	31日
5	8	15泊	30日
6	12	18泊	35日
7	8	14泊	28日
8	8	11泊	22日
9	9	16泊	32日
10	6	11泊	21日
11	9	16泊	32日
12	9	17泊	34日
1	5	8泊	16日
2	7	11泊	21日
3	7	11泊	22日
計	98	164泊	324日
月平均	8.2	13.7泊	27.0日

日中一時		
月	利用人数	延べ利用日数
4	12	25
5	10	20
6	11	21
7	15	39
8	14	55
9	14	30
10	13	28
11	13	29
12	14	27
1	14	34
2	15	27
3	15	40
計	160	375
月平均	13.3	31.3

2 職員体制（平成22年3月31日現在）

管理者 (兼務)	支援スタッフ		計
	常勤	非常勤	
1	1	0	2

平成21年度 ワクワク工房デイサービス事業報告

1.利用者の状況

(1)利用者数・年齢分布

年代	20年度末(2009/3/31)			入所		退所		21年度末(2010/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18~29	1	3	4		1		1	1	3	4
30~39	2	3	5					2	3	5
40~49	0	3	3	2		1		1	3	4
50~59	1	3	4					1	3	4
60~69	1	3	4		1	1	1	0	3	3
計	5	15	20	2	2	2	2	5	15	20
平均年齢	42.2	43.7	43.3	4		4		39.6	44	42.9

(2) 障害者区分

愛の手帳	男性	女性	計
2度		2	2
3度	1	7	8
4度	4	6	10
計	5	15	20

2.開所日数

237日

3.利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	21	18	22	22	18	19	20	19	19	18	19	22	237	19.75
登録者数	19	20	20	20	21	20	21	21	21	22	22	22	249	20.75
出席者数	230	210	277	264	223	238	286	240	256	247	250	251	2972	247.7
1日平均	11.0	11.7	12.6	12.0	12.4	12.5	14.3	12.6	13.5	13.7	13.2	11.4	150.9	12.58
新規契約		1			1		1			1			4	
退 所					1							2	3	

4.支援の状況

あらゆる活動を通して、利用者が社会参加と自立を図れるよう又、ともに生きがいを高められるよう、支援をしております。所外レクリエーションや誕生日会等これまで経験した事のないような新しい企画により実施いたしました。又、四季折々の日本の文化に親しみ、利用者が楽しみやすい行事も実施しました。

本年度は新規利用者が4名入所し、デイサービス事業が徐々に認知されてきたものと考えられます。

(1)行事報告

平成21年度は次の行事を実施した。

保護者会、誕生日会、食事会、所外レクリエーション2回、ボウリング、宿泊訓練、バーベキュー大会
民生委員交流会、宿泊レクリエーション、ふれあいコンサート、クリスマス会、新年会、節分会、ひなまつり
参加行事

スポーツレクリエーション大会、福祉大会

	行 事
4月	調理実習(4回) 16日保護者会(10名) 20日誕生日会(13+6名)
5月	調理実習(3回) 18日新人歓迎食事会(15+6名)
6月	調理実習(3回) 11日所外レク(さくらんぼ狩り15+5名) 29日誕生日ボウリング大会(14+6名)
7月	調理実習(3回) 16, 17日宿泊訓練(10+5名) 29日誕生日バーベキュー大会(14+7名)
8月	調理実習(4回) 13~17日夏季休暇 20日誕生日会(16+6名)
9月	調理実習(3回) 17日保護者会(14名) 18日健康診断(15名) 30日誕生日会(13+6名)
10月	調理実習(3回) 6日避難訓練(15+5名) 15, 16日宿泊レク・富士山周遊(15+5名)
	18日スポーツレクリエーション(14+4名) 23日民生員交流会(14+4名)
11月	調理実習(3回) 9日ふれあいコンサート・新日本フィル(13+4名) 16日誕生日会(15+7名)
12月	調理実習(3回) 15日誕生日会(13+6名) 24日アンブレラ見学会(16+4名) 28日忘年お楽しみ会(15+4名)
1月	調理実習(4回) 29~4日冬季休暇 5日新年会・卯の木庵(17+6名) 28日誕生日会(16+7名)
2月	調理実習(3回) 3日節分会(15+4名) 15日誕生日会(14+6名) 21日福祉大会(13+5名)
3月	調理実習(4回) 3日ひな祭り誕生日会(13+4名) 4日所外レクリエーション・バスハイク梅見(14+5名)

(○+△名)の○は参加利用者、△は職員を示す

(2)クラブ活動

月2回カラオケ会を開催した。

(3)調理支援

毎週水曜日に調理実習を実施した。

(4)健康管理

月に1回、体重測定、年に1回、健康診断を実施した。

(5)安全管理

年に1回、避難訓練を実施した。

平成21年度 ほ一む大洋 事業報告

平成21年4月に開設し、丸1年を過ぎることができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に6名の方々を迎え、心をこめた朝夕の食事提供、リラックスして1日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心がけてきました。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと、入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して1年間努力してきました。

こうした中で、入居者の方々も生活習慣や対人関係にも慣れ、生活基盤ができてきているように見え、うれしく感じているところです。

今後は、健康管理や安全管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代		1	1
30代	2	1	3
40代	1		1
60代		1	1
計	3	3	6

② 障害区分

区分	男	女	計
1	1	3	4
2	1		1
3	1		1
計	3	3	6

③ 日中活動

	男	女
一般企業	1	2
福祉作業所	2	1

2 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画は一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員とほ一む職員の合意のもとに作成しました。これに基づき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

3 支援状況

① 行事

花火大会	7月	大洋屋上
誕生日会	9月・1月・3月・4月	東武ボール
		ロイヤルホスト
クリスマス会	12月	大洋食堂

- ② 健康管理
朝食時や夕食時に入居者ひとり一人の健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。
- ③ 安全管理
個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。
- ④ 日中活動への支援
入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。
- ⑤ 就労支援
ハローワークに同行する等、就労支援に努めました。また、離職者に対し、福祉就労への入所を図り、対応をしました。

平成21年度 ほ一むアンブレラ 事業報告

平成21年12月およそ10カ月の工期をかけ、念願のほ一むアンブレラの竣工を迎えることができました。平成22年2月、14名の入居者を決定し、事業開始をすることができました。

現在、開設から2カ月余りで事業報告と言えるほどには至っていませんが、まず入居者の環境慣れ、あるいは職員体制の確立に重点を置き、毎日あわただしい日々明け暮れしているところです。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	3	1	4
30代	2		2
40代	2	2	4
50代	3		3
60代	1		1
計	11	3	14

② 障害区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	4	1	5
3	1	1	2
4			
5	1		1
6	1	1	2
計	11	3	14

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	3		3
福祉作業所	5	1	6
デイサービス	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

2 個別支援計画の作成

個別支援計画(以下「支援計画」という。)は、入居者個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとり一人のニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員、ほ一むの職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものなので早々に作成していきます。

3 行事については、今後計画していきます。

平成21年度 亀沢七福福祉作業所 事業報告

1. 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

男性 10名 女性 6名 合計 16名

年齢分布

年代	20年度末(21.3.31)			入所		退所		21年度末(22.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0					0	0	0
20～29歳	2	1	3					2	1	3
30～39歳	5	2	7					5	2	7
40～49歳	1	1	2					1	1	2
50～59歳	1	0	1					1	0	1
60歳～	1	2	3					1	2	3
計	10	6	16	0	0	0	0	10	6	16
平均年齢	37.1	45	40	0		0		37.1	45	40

(2) 障害内容(22.3.31現在)

知的障害 愛の手帳	男性	女性	計
1度	0	0	0
2度	2	0	2
3度	2	2	4
4度	6	4	10
計	10	6	16

2. 開所日数

237日

3. 支援状況

本年度より、法人の1事業所として運営を開始しました。これまでの「手をつなぐ親の会」運営時の良い面を継承し、また法人化の新たな運営方法・支援方法を取り入れながらの1年でした。特に、利用者や保護者に極力不安を与えないよう急激な変化を求めない事業運営を図りました。

(1) 行事

平成21年度は次の行事を行いました。

6月16日	ボウリング大会	アイビーボウルより招待	利用者16名・職員7名
7月17日	バスハイク	キリン横浜ビール工場見学、横浜中華街散策	利用者16名・職員7名
9月2日	スポーツの集い	スポーツ協会主催のスポーツの集いに参加	利用者15名・職員5名
10月18日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツレクリエーション大会へ参加	利用者15名・職員5名
11月12日 ～13日	宿泊旅行	いこいの村泊泊、香取神宮見学、潮来十二橋巡り、大洗水族館観覧	利用者13名・職員7名
12月28日	忘年会	亀沢七福食堂にて食事会、カラオケなど	利用者15名・職員6名
1月5日	新年顔合わせ会	湯島天神へ初詣	利用者15名・職員5名
2月21日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 演目：歌「泣いてもいいですか」	利用者15名・職員5名

(2) クラブ活動

毎月第3水曜日の午後に行いました。

(3) 健康管理の取組み

施設としての利用者の健康状態と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方法	実施サイクル	
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する。
定期健康診断	9月7日	医療機関において胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診等の検査を行いました。

あ

(4) 安全管理

作業中及び通所と途中の事故防止について、普段から作業所の生活のなかで注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化をはかりました。また、今年度より火災や大地震の発生に備え、7月21日に避難訓練を実施しました。

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携さ、就労に向けた取り組みを行ってきました。

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当では達しられない温かみや家庭的雰囲気の食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

4. 工賃推移

平成21年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
¥274,602 (¥18,037)	¥215,931 (¥13,496)	¥253,015 (¥15,813)	¥204,940 (¥12,809)	¥234,891 (¥14,681)	¥289,001 (¥18,063)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
¥273,749 (¥17,109)	¥175,063 (¥10,941)	¥390,594 (¥25,372)	¥218,390 (13,649)	¥289,389 (¥18,087)	¥327,701 (¥20,481)

()内は一人平均

21年度工賃支払総額 3,147,266円

21年度一人平均 16,545円

平成21年度 向島七福福祉作業所 事業報告

1. 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

男性 9 名 女性 9 名 合計 18 名

年齢分布

年 代	20年度末(21.3.31)			入 所		退 所		21年度末(22.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0					0	0	0
20～29歳	1	1	2					1	1	2
30～39歳	2	2	4	1				3	2	5
40～49歳	1	4	5	1				2	4	6
50～59歳	2	2	4					2	1	3
60歳～	1	0	1					1	1	2
計	7	9	16	2	0	0	0	9	9	18
平均年齢	43.7	44	43.8	2		0		44.3	45	44.6

(2) 障害内容 (22. 3. 31現在)

知的障害 愛の手帳	男性	女性	計
1 度	0	0	0
2 度	0	1	1
3 度	4	3	7
4 度	5	5	10
計	9	9	18

(内、身障手帳2級が1名)

2. 開所日数

237日

3. 支援状況

本年度より、法人の1事業所として運営を開始しました。これまでの「手をつなぐ親の会」運営時の良い面を継承し、また法人化の新たな運営方法・支援方法を取り入れながらの1年間でした。特に、利用者や保護者に極力不安を与えないよう急激な変化を求めない事業運営を図ってきました。

(1) 行事

平成21年度は次の行事を実施しました。

6月18日	ボウリング大会	アイビーボウルの招待ボウリング	アイビーボウル
6月26日	バスハイク	メロン狩りと森永工場見学	栃木県小山方面
9月2日	スポーツの集い	スポーツの集い	
10月18日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会に参加	区体育館
11月8日 ～9日	一泊旅行	鴨川シーワールド見学、鴨川かんぽの宿宿泊、清澄寺拝観、養老溪谷散策	千葉県鴨川方面
2月21日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 ダンス「じょいふる」を踊りました	曳舟文化センター

(2) クラブ活動

平成21年度は次のクラブを実施しました。

4月24日	ウォーキング	浅草散策	浅草・吾妻橋方面
5月22日	ウォーキング	墨田区役所ギャラリーにて絵画鑑賞	墨田区役所
8月6日	ウォーキング	東京都障害者総合美術展鑑賞	池袋西武
1月・2月	ダンス	福祉大会ダンス練習	向島七福作業所

(3) 健康管理の取り組み

施設としての利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方法	実施サイクル	内容
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する。
定期健康診断	1月7日	医療機関において胸部X線・尿・血液・血圧・内診・心電図等の検査を行いました。

(4) 安全管理

作業中及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、今年度より火災や大地震の発生に備え、年1回の避難訓練を実施しました。

実施日 平成21年10月22日

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センター等と連携し、就労に向けた取り組みを行ってきました。

女性（28歳） 22年4月1日より区内企業にてトライアル雇用予定

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当では達しられない温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

4. 工賃推移

平成21年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
¥180,033 (¥11,252)	¥260,450 (¥16,278)	¥352,300 (¥20,724)	¥310,460 (¥18,262)	¥246,227 (¥14,484)	¥309,201 (¥18,188)	¥327,253 (¥19,250)

11月	12月	1月	2月	3月
¥263,723 (¥15,513)	¥325,002 (¥19,118)	¥220,885 (¥12,993)	¥339,642 (¥18,869)	¥329,242 (¥18,291)

()内は一人平均

21年度工賃支払総額 3,464,418円

21年度一人平均 16,935円